

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期大空町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道網走郡大空町

3 地域再生計画の区域

北海道網走郡大空町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1955年の16,316人をピークに減少が急激に進み、1975年には10,000人を下回った。その後、減少のスピードは緩やかになり、1990年まで9,000人前後で推移してきたが、2000年代に入り、減少のスピードが加速している。住民基本台帳によると2025年12月末現在の総人口は、6,279人であった。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2040年の総人口は4,638人、2060年には2,843人になると推計されている。

年齢3区分別の人口動態をみると、1990年まで年少人口が老年人口を上回っていたが、少子高齢化傾向が続く中、1995年に逆転した。

以降も老年人口が増加する一方、年少人口は生産年齢人口とともに減少を続けている。

自然動態をみると、死亡数が出生数を上回っている状況が続いており、2020年からその差は拡大する傾向にある。

社会変動をみると、過去10年間で、転入数が転出数を上回った年が2回あったが、それ以外の年は転出数が転入数を上回っており、2024年には200人台を維持してきた転入数が179人となった。

このような中、心豊かな住みよい環境づくりや多様な人材の確保、就業機会の創出等の効果的な施策を一体的に推進するため、子育て世代、若者に対する取組等、幅広く人口減少対策を展開してきた。

高齢社会の進展により平均寿命は延びているが、今後も一定程度の死亡者数はやむを得ないものと思われる。また、少子化傾向に歯止めをかけ人口減少を食い止めるためには、若い世代の定住やこどもを生み育てたくなる住みよい、安心安全のまちづくりを推進しなければならない。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

各施策（事業）の取組が、人口減少率の改善に効果があるものと考えられるため、次の事項を本計画期間における基本目標とし、各事業の取組を進めていく。

- ・基本目標 1 住むうえでの不安を減らす
- ・基本目標 2 つながりで活力を生み出す
- ・基本目標 3 健康で安全に暮らせるようにする

【数値目標】

5－2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	「住み良い」と思っている町民の割合	81.7%	83%	基本目標 1
	「住み続けたい」と思っている町民の割合	56.5%	70%	
イ	大空町を知っている人の割合（オホーツクAI認知度調査）	4.6%	10%	基本目標 2
ウ	「安心」「安全」と思う町民の割合	20.7%	30%	基本目標 3

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

5－2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期大空町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 住むうえでの不安を減らす事業

イ つながりで活力を生み出す事業

ウ 健康で安全に暮らせるようにする事業

② 事業の内容

ア 住むうえでの不安を減らす事業

（1）新たな生活を応援する（新たなオオゾライフを応援する）

①理想の仕事、すみか探しを支援する

②多様性を認め合えるまちにする

（2）人口減少社会における不安を解消させる

①こどもの不安を解消させる

②子育てや教育の不安を解消させる

③高齢社会や老後の不安を解消させる

【具体的な事業】

- ・ 移住相談支援（移住・定住促進事業）
- ・ 高校のデジタル活用による人材育成（高校魅力化推進事業）
- ・ 地域公共交通対策事業 等

イ つながりで活力を生み出す事業

（1）地域の資源を活かし、新たな価値を生み出す

①地域資源で魅力や付加価値を生み、経済効果を高める

②地域資源で魅力や付加価値を生み、まちの魅力を高める

（2）交流人口、関係人口を増やし地域の活性化、定住につなげる

①交流人口を大切にし、増やす

②関係人口を創出し、地域の人材育成につなげる

【具体的な事業】

- ・ 地域ブランディング事業
- ・ 東藻琴芝桜公園整備事業 等

ウ 健康で安全に暮らせるようにする事業

(1) 健康なまま生活できることを支援する

①健康寿命を延ばす

(2) 様々な危険から命を守る

①災害や気候変動から命を守る

②事故や犯罪などから命を守る

【具体的な事業】

- ・ 除雪対策事業
- ・ 高齢者運転免許自主返納支援事業（交通安全対策） 等

※なお、詳細は第3期大空町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

2,000,000 千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

【検証方法】

毎年度10月頃に総合戦略の進捗状況を検証する「大空町まち・ひと・しごと創生会議」において、施策や事業の効果検証を実施し、随時総合戦略の変更検討を行う等、戦略の実効性を高めていく。また、検証結果や戦略の変更について、町議会の常任委員会において報告する。

【外部組織の参画者】

女満別町農業協同組合、大空建設業協会、大空町商工会、大空町校長会、東京農業大学、大空町自治会女性部連絡協議会、女満別町農業協同組合女

性部、網走信用金庫女満別支店、北海道新聞北見支社

【検証結果の公表の方法】

検証後速やかに、本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで